

社会福祉法人きまもり会 令和2年度 事業報告書(案)

法人本部

各事業・事業所について

- 生活介護事業（日中一時支援事業含む）
- 共同生活援助事業
- 居宅介護・訪問介護事業等

社会福祉法人きまもり会 令和2年度事業報告

【法人本部】

令和2年度は、当初より新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令など、波乱の幕開けであった。

事業活動に関しては、各事業所においてもあゆみまつりをはじめ各種行事が軒並み中止となり、それまで恒例で参加してきた対外行事についても中止が相次ぐこととなり、これまでとは違った活動を行わざるを得なくなった。

しかしながら、各事業所において感染が広がることもなく、無事に過ごせたことは利用者・ご家庭のみならず、何よりも事業所職員の日々の努力を強く感じさせるものであった。

グループホームを除き赤字になる事業はなく全般に安定しているものの、新型コロナウイルスの影響により、どこまでその影響が広がるのか予想がつかない部分があり、今後、各事業所での安全等を確保しつつ運営していくためにも、国や自治体との連携を深めていくことがより一層必要となってくる。

福祉業界に関しては慢性的な人手不足が叫ばれて久しく、当法人としても例外ではなく、少しでも状況を打破すべく、社会福祉士の養成に必要な施設実習を受けていくために、社会福祉士資格のある者が実習指導者の講習を受講し、令和3年度より受け付けていく予定である。こうした活動から、新規職員の獲得に繋がっていかねばと考えている。

新規事業の開設に関しては、早い段階から人材を獲得していき、開設に向けた準備を進めていかなければいけない。そのためにも、現段階から新たな人材を獲得していき、思い切った人件費の投入を考慮していかなければいけない。

夜間支援の必要となるグループホームの開設については、多くの要望があるが、利用者の宿泊体験を含め、「共同で生活する」意識を、事業所及び利用者とそのご家族が持てるような取り組みをしっかりと行っていく必要があるのを強く感じる。

職員の資質の向上という部分では、年2回の職員研修を予定していたものの、新型コロナウイルスの影響から開催が困難となったが、感染対策の取られた市内開催の研修等に参加していくことができた。現場では、日中活動を通じて利用者の特性の理解や権利擁護、虐待の防止、差別の禁止等を伝えていくことができた。令和3年度は研修については、できうる限り参加を奨励し、支援力の向上に努めていきたい。

1. 理事会・評議員会の開催状況

〔理事会〕

平成2年度 第1回

〈第74回 理事会〉

1、提案書通知 令和2年5月25日（月）

2、決議事項を提案した者

社会福祉法人きまもり会 理事長 石川博夫

3、決議に特別の利害関係を有する理事 なし

4、理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

議 事

第1号議案 令和元年度（平成31年度）事業報告【案】について

第2号議案 令和元年度（平成31年度）収支決算報告【案】について

第3号議案 令和元年度（平成31年度）監事監査報告について

第4号議案 第49回評議員会開催日時・開催場所及び議題・議案について

5、理事会の決議があったとみなされた日

令和2年5月27日（水）

6、議事録作成に係る職務を行った者の氏名

社会福祉法人きまもり会 業務執行理事 興柁精視

令和2年度 第2回
〈第75回 理事会〉

- 1、提案書通知 令和2年11月17日（水）
- 2、決議事項を提案した者
社会福祉法人きまもり会 理事長 石川博夫
- 3、決議に特別の利害関係を有する理事 なし
- 4、理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
議 事
第1号議案 社会福祉法人きまもり会令和2年度第1回補正予算【案】について
第2号議案 社会福祉法人きまもり会実習生等受入規程【案】及び実習生受入マニュアル【案】について
第3号議案 社会福祉法人きまもり会令和2年度第1回補正予算編成に伴う第50回評議員会の開催について
第4号議案 第51回評議員会開催日時・開催場所及び議題・議案について
- 5、理事会の決議があったとみなされた日
令和2年11月26日（金）
- 6、議事録作成に係る職務を行った者の氏名
社会福祉法人きまもり会 業務執行理事 興柁精視

令和2年度 第3回
〈第76回 理事会〉

- 1、招集通知 令和3年2月19日（金）
- 2、開催日時 令和3年3月19日（金） 13:30から15:15まで
- 3、開催場所 愛歩食堂
- 4、出席理事 石川博夫（理事長） 田中八隆 山田誠子 松本祥明 武田昌也
興柁精視（事務局）
- 5、欠席理事 なし
- 6、出席監事 山田達巳 安部今日子
- 7、欠席監事 なし
- 8、決議に特別の利害関係を有する理事 なし
議 事
第1号議案 令和3年度事業計画【案】について
第2号議案 令和3年度収支予算【案】について
第3号議案 第52回並びに第53回評議員会の開催及び議題・議案について
第4号議案 社会福祉法人きまもり会評議員選任・解任委員の選任について
- 9、報告事項 ○理事長及び業務執行理事による職務の執行状況の報告

〔 評議員会 〕

令和元年度 第1回
〈第49回 評議員会〉

- 1、提案書通知 令和2年6月12日（金）
- 2、決議事項を提案した者
社会福祉法人きまもり会 理事長 石川博夫
- 3、決議に特別の利害関係を有する評議員 なし
- 4、理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
議 事
第1号議案 令和元年度（平成31年度）事業報告の承認について
第2号議案 令和元年度（平成31年度）収支決算報告の承認について
第3号議案 令和元年度（平成31年度）監事監査報告について

第4号議案 社会福祉充実残額の承認について

- 5、理事会の決議があったとみなされた日
令和2年6月22日（月）
- 6、議事録作成に係る職務を行った者の氏名
社会福祉法人きまもり会 業務執行理事 興柁精視

令和2年度 第2回

〈第50回 評議員会〉

- 1、提案書通知 令和2年11月30日（月）
- 2、決議事項を提案した者
社会福祉法人きまもり会 理事長 石川博夫
- 3、決議に特別の利害関係を有する評議員 なし
- 4、理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
議 事
第1号議案 社会福祉法人きまもり会令和2年度第1次補正予算の承認について
- 5、理事会の決議があったとみなされた日
令和2年12月7日（月）
- 6、議事録作成に係る職務を行った者の氏名
社会福祉法人きまもり会 業務執行理事 興柁精視

令和2年度 第3回

〈第51回 評議員会〉

- 1、招集通知 令和3年2月19日（金）
- 2、開催日時 令和3年3月25日（金） 13：30から15：15まで
- 3、開催場所 愛歩食堂
- 4、出席評議員 堀之内秀紀 成岡哲郎 加藤栄一 志水佳三 福岡隆
木谷早苗 浅井里美
- 5、欠席評議員 田中祐三
- 6、出席監事 山田達巳 安部今日子
- 7、欠席監事 なし
- 8、出席理事 石川博夫（理事長） 興柁精視（業務執行理事）
- 8、決議に特別の利害関係を有する理事 なし
議 事
第1号議案 令和3年度事業計画【案】について
第2号議案 令和3年度収支予算【案】について

2. 苦情解決第三委員会改め虐待防止委員会開催状況

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の見地から開催せず。

1. 総括

【愛歩 生活介護事業】

令和2年度は4月1日時点では34名でのスタートであったが、令和2年6月に1名が入院治療のため退所、同7月及び10月には利用者3名が新規入所し36名となる。職員配置に関しては、妊娠出産のため女性非常勤職員1名が退職する。

利用者に関しては、4月の緊急事態宣言が発出された際、利用自粛を呼び掛けたところ、ほとんどの利用者が自宅での自粛を受け入れていただくことができた。生活の乱れが心配されたものの、毎日の電話連絡で様子を確認していく中で、比較的落ち着いた様子で過ごせることが確認できたことは収穫でもあった。緊急事態宣言が解除されてからも大きな混乱もなく再開することができ、これまでの職員の対応の積み重ねを感じることができた事は大きかった。

生産事業としては、パン工房・喫茶運営及びお菓子事業では、販売のみを続けていたものの、やはり自粛の影響は大きく、大幅な売り上げの減少につながった。しかしながら、利用者の工賃についてはできる限り現状を維持しつつ、今後の増減への対応を考えていくきっかけとすることができた。

今後の方向性としては、愛歩の定員数が限界に達しており、介護報酬の面からも、事業所の受け入れ許容範囲としても限界に近くなっており、一会作業所をより一層活用することも含め、新しい事業所の開設を考えた上で、人材の募集・採用・育成を行っていく必要がある。3月末には新規職員及び看護師の採用も決まり、来年度は先行投資としての人件費の増加が見込まれる。

例年の課題としては、男性利用者数に対して男性職員数が見合っていない状態が続いている。

そこで、新規事業所を見据えた上で、引き続き職員募集をかけるとともに管理職・事務職含め総出で現場対応にあたっていくことは必須となっている。

利用者対応に関しては、職員への研修の機会を内外問わず積極的に活用し、虐待防止の観点も含め、障害特性のより一層の理解を深め個々の支援力を向上させていくことが求められており、来年度に向けて研修の在り方をより深く考えていく必要がある。

◎令和3年度には新規に3名が入所する予定であり、定員を40名に増員。

◎令和3年2月よりクックフリーズ方式の導入により食事提供体制加算を再度申請。

【モチロホーム 共同生活援助】

令和2年度は、4月1日時点で定員6名現員5名の利用者でスタートしている。利用者に関しては、愛歩と同じく、4月の緊急事態宣言が発出された際、利用自粛を呼び掛けたところ、全利用者が自宅での自粛を受け入れていただくことができた。

緊急事態宣言が明けてから、1名の利用者は引き続き利用自粛とのことで、結果今年度末まで自主的な自粛継続となっている。

宿泊体験については、予定していたものの、やはり緊急事態宣言の発令及び感染拡大防止の観点からも中止することとなった。

収支については、宿泊体験を見越したうえでの予算建てであり、事業収入は大幅な減益となった。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況に加え、以前からの懸念材料であった人材の確保など、課題も多く先行きが読めない部分が多いが、令和3年度は新規ホーム開設に向けて、宿泊体験を積極的に行っていきたい。

【ヘルパーステーション一会 居宅介護等（障害福祉）・訪問介護等（介護保険）】

新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、障害福祉に限らず、社会福祉事業所は「原則事業の継続」となっていた。特に利用者宅に訪問する訪問介護（高齢）・居宅介護（障害）は、利用者個々の日常生活を支えるということからも、感染の危険と隣り合わせながらも休止する

ことなく稼働していた。

外出支援である移動支援については、特に余暇支援の部分は縮小せざるを得ず減少となったが、通常の利用については大幅な減少となることはなかった。

ヘルパー従事者については、感染の危険性がある中、利用者の生活を支えるという使命感から自粛の希望者もなく、継続して勤務していただけたことは非常にありがたいものであった。

令和3年度も、従事者個々の感染対策には、事業所としても十分配慮しつつ、高齢の利用者・障害のある利用者の生活の支えとなっていきたい。

2. 事業状況

【愛歩 生活介護事業】

(1) 利用状況（令和3年3月31日現在）

1) 年齢層・性別

年齢層						性別		計
15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	男	女	
0	8	14	10	2	2	25	11	36

年齢分布としては、30代から40代の中間層が約67%となっており、平均年齢では約38歳となっている。50代以上は4名在籍し、そのうち1名は65歳に達し介護保険との併用が始まっている。また、一人暮らしでもあるので、今後の地域生活についての検討が急がれる。

また、利用者の平均年齢の上昇に伴い、保護者の平均年齢も上がってきており、親亡き後の生活が現実のものとなってきている。

2) 障害支援区分

障害支援区分						性別		計
区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	男	女	
0	1	3	14	5	13	25	11	36

障害支援区分については、昨年の利用実績から換算すると平均区分は4.8となり、昨年度と比べ0.1上がっている。

3) 年間利用者数

a、生活介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	711	578	666	705	563	673	697	687	612	678	668	767	8,005
入院者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所者数	34	33	33	35	35	34	34	36	36	36	36	36	—
退所者数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2

年間利用者数に関しては、4月から5月にかけての利用自粛期間（在宅支援を行い報酬算定可）があったが、出席率も9割以上となっており、事業運営の安定に繋がっている。

利用者については、新規利用者として3名が入所。また入院のための退所者（のちに逝去）、他の事業所へ移籍するも再度戻ってきた利用者もあり、最終的には36名となっている。

（令和3年度は、定員40名の現員39名スタート予定）

b、日中一時支援（公益を目的とする事業）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日進市	3	0	0	2	0	0	0	0	7	7	2	5	26
合計	3	0	0	2	0	0	0	0	7	7	2	5	26

令和2年度は、日進市在住、特別支援学校在籍の高等部の学生の利用が主となった。これは、卒業後の進路を決めていくための職場体験実習となっており、利用したい事業所を選定する上で一定の役割が果たせていると感じる。

結果として、これまでも実習を受けてきた中で利用者が増加している現状がある。

(2) 作業実績

1) 売り上げ

* () 内は前年度増減比／(単位：円)

パン・クッキー 製造販売	喫茶	名刺作成等	内職	その他	就労事業収益計
6,645,692 (-2,737,943)	205,000 (-1,095,470)	481,950 (+40,950)	884,049 (-226,103)	96,564 (-246,178)	8,313,255 (-4,264,744)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、店頭販売・出張販売等の大幅な縮小、イベントの中止などが響き、名刺作成以外の作業での売り上げは前年度比-4,264,744円の大幅な減少となった。内職、その他の作業については作業単価も低く、利用者の日中活動を支えているものの、売り上げの面では非常に厳しい現状が見られた。

2) 利用者工賃

* () 内は前年度増減比／(単位：円)

令和2年度 工賃支給総額	最高工賃支給月額	最低工賃支給月額	令和2年度 工賃平均支給月額
3,879,153 (-789,947)	28,520	2,040	約 9,508 (-1,936)

利用者工賃については、売り上げの大幅な減少に伴い、全体の工賃が減り、前年度比約1,936円の減少となった。ただし、数字としては下がっているものの、利用者個々の工賃の減額は行っていない。

工賃の支給については、個々の出席日数、作業稼働日等も考慮して支給していることが関係し、減額せずとも支給ができています。

(3) 活動状況

1) 主な年間行事・活動

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各行事等は中止

2) 健康管理

- ・健康チェック（看護師／毎週月・木曜日：体温・脈拍・血圧等測定、体重測定）
- ・予防接種（笹本内科／インフルエンザ希望者接種）
- ・健康診断（年2回 笹本内科／名古屋公衆医学研究所）
- ・医師巡回指導（月1回 笹本内科）

3) 保護者との連携

- a、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、利用自粛を呼び掛けたところ、日中においても大変な状況が予測されたが、保護者の協力もあり何とか乗り越えることができた。
- b、愛歩協定会定例会の開催についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より年度中は中止となった。
- c、利用に関する相談や、個別の相談などは随時行った。

4) 職員の活動

- a、各種会議の開催
 - ①職員会議…日々の連絡事項、行事予定の確認、作業についての打ち合わせなど。
 - ②ケース会議…日々のケースに応じて随時執り行う。
- b、法人職員研修への参加（感染防止策を講じた上で虐待防止研修などに参加）
- c、知的障害者福祉協会・社会福祉協議会等が主催する研修会については出席を見合わせた。
- d、日進市障害者自立支援協議会及び専門部会／日進市特別支援教育連携協議会／日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会／虐待防止ネットワーク会議等各会議への参加（リモート会議を含む）

【モチロホーム 共同生活援助（外部サービス利用型）】

(1) 利用状況（令和3年3月31日現在）

1) 年齢層・性別

年齢層						性別		計
15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	男	女	
0	0	3	1	1	0	2	3	5

2) 障害支援区分

障害支援区分						性別		計
区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	男	女	
0	0	0	2	0	3	2	3	5

モチロホームの入居者は、区分4以上の方で占められており、スプリンクラー設置が設置されているとはいえ、火災・地震等の災害発生時の避難対策・訓練については積極的に行っていく必要がある。

3) 年間利用者数

a、共同生活援助（体験利用含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	129	115	117	132	113	133	135	124	115	120	128	134	1,495

入所者新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用自粛があり、4月から5月にかけては在宅支援となったが、ホームでの支援と同等とみなしており、常時利用の利用者についてはほぼ例年通りとなった。

【ヘルパーステーション一會 居宅介護等・訪問介護等】

(1) 利用状況 (令和3年3月31日現在)

1) 利用延べ人数 (居宅介護等には同行援護含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
訪問介護	239	221	250	261	240	245	1456
総合事業	162	156	185	177	161	172	1013
居宅介護等	320	299	323	320	274	323	1859
移動支援	30	8	71	85	32	64	290
プラスワン	4	4	7	7	8	7	37
有償キャンセル	1	2	2	3	4	2	14
合計	756	690	838	853	719	813	4669

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計	年度合計
訪問介護	278	253	199	179	174	200	1283	2739
総合事業	181	182	180	172	163	203	1081	2094
居宅介護等	354	322	295	296	287	326	1880	3739
移動支援	91	0	73	50	45	79	338	628
プラスワン	13	5	4	4	4	5	35	72
有償キャンセル	0	2	4	4	5	2	17	31
合計	917	764	755	705	678	815	4634	9303

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、余暇支援として利用されることの多い移動支援の運営を中止したこともあり、利用者数は軒並み減少した。また、訪問介護・居宅介護についても、生活上どうしても外せないものを除いて、利用を控える方も多く減少となった。

2) 職員の活動

a、各種会議の開催

①職員会議 (週1)・・・正職員及び非常勤職員参加。連絡事項、行事予定の確認、利用者についての注意事項等。

(月1)・・・正職員参加。売り上げ確認、各利用者及び非常勤職員への留意事項確認、制度変更の際の確認など

b、事業所職員研修 (月1)・・・介護技術指導等を含む毎月の研修

c、法人職員研修への参加・・・虐待防止研修等への参加